

東京2020 カウントダウン・アクション(令和2年度2月補正予算含む)

施策方針1 スポーツによる地域振興

1 大会成功に向けた支援

NO	事業名	部局	担当課	内容	実績
1	自転車競技ロードレース推進事業費補助金	スポ	オリンピック・パラリンピック推進課	東京オリンピック大会自転車競技ロードレースの開催に向けた準備等の取り組みに対し助成する。	・補助先:道志村、山中湖村
2	機運醸成推進事業費補助金	スポ	オリンピック・パラリンピック推進課	市町村が行う機運の醸成の取り組みに対し助成する。	・補助先:ホストタウン登録市町村等(活用市町村) 甲府市、北杜市、甲州市、西桂町、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町
3	自転車競技ロードレース推進事業費	スポ	オリンピック・パラリンピック推進課	東京オリンピック大会自転車競技ロードレースの開催に向けた準備等の取り組みを行う。	アドバイザーの設置、コースVR映像の製作、サイクルフォトラリー及びシティドレッシング(甲府駅)の実施等
4	県実行委員会事業費補助金	スポ	オリンピック・パラリンピック推進課	大会の準備やレガシーの創出を推進する取り組みに対し助成する。	・総会:5月28日 ・聖火専門部会:12月17日、2月24日
5	聖火リレー開催費補助金	スポ		パラリンピック聖火フェスティバルの開催に要する経費に対し助成する。	・補助先:県実行委員会(補助内容) ・聖火リレー専門部会の開催 ・聖火リレー実施準備、実施運営計画の策定
		スポ	オリンピック・パラリンピック推進課	東京オリンピック大会への県内における機運の醸成を図るため、聖火リレーの実施に要する経費に対し助成する。	
		スポ		東京オリンピック大会聖火リレーにおける、感染症対策に要する経費に対し助成する。	

2 スポーツ拠点の形成

NO	事業名	部局	担当課	内容	実績
1	事前合宿誘致推進事業費	スポ	オリンピック・パラリンピック推進課	スポーツ振興や地域経済の活性化を図るため、市町村における事前合宿の誘致を推進する。	・事前合宿誘致等Webサイトの運営
2	誘致支援事業費補助金	スポ	オリンピック・パラリンピック推進課	ホストタウンに登録された市町村に対し事前合宿に必要な支援を行う。	・なし(ホストタウン登録された市町村がなかった)
3	サイクル王国やまなし推進事業費(一部再掲)	スポ	オリンピック・パラリンピック推進課	東京オリンピック大会自転車競技ロードレースの開催を好機に、自転車を活用した地域活性化を図るため、サイクル王国やまなしの実現に向けた取り組みを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の通行ルールや自転車損害賠償責任保険等への加入義務化に関するチラシ・ポスターを作成し、市町村や学校等へ配付するなど周知啓発を実施。 「富士の国やまなしを全力で走る+」において、「サイクル王国やまなし」及び「自転車と泊まれる富士北麓地域の宿」に関する記事を掲載した。 ・峡東地域部会を設置
		リニア	交通政策課		
		観光	観光振興課		
		県土	道路整備課		
4	競技力向上費	スポ	スポーツ振興課	国体や全国大会において優秀な成績を収め、本県のスポーツ水準を維持向上させるための事業を実施する。優秀な選手をジュニア期から組織的、計画的に育成するため、県スポーツ協会が行う取り組みに対し助成する。(ジュニアアスリートータルサポート事業費補助金)	<ul style="list-style-type: none"> ・補助先:各競技団体(国体及び国体関東ブロック大会へ 出場する競技団体)(補助内容) ・競技向上のための選手強化事業に要する経費 ・国体選手派遣に要する経費(交通費、宿泊費、食費) ・選手発掘事業に伴う経費 ※19競技団体延べ146回、競技団体合同の事業を 11競技団体で3回開催 ・選手育成事業に伴う経費 ※27競技団体延べ496回 ・指導者養成に要する経費 ※5競技団体で51人の資格取得を支援
5	スポーツによる地域活性化懇話会開催費	スポ	スポーツ振興課	東京オリンピック・パラリンピック大会開催を好機に、スポーツを活用した地域活性化を図るため、外部有識者と知事が意見交換を行う。	・開催(5回):4月16日、5月22日、7月16日、10月12日、11月26日
6	東京オリンピック・パラリンピック受入体制整備資金貸付金	総務	市町村課	事前合宿等の受入体制を強化するため、ホストタウンに登録された市町村が行う施設整備事業に対し資金を貸し付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・対象:6件・3市 ・融通申請:11月 ・内定:1月 ・交付決定:3月
7	東京オリンピック自転車競技ロードレースコース整備事業費	県土	道路管理課	東京オリンピック大会自転車競技ロードレースの本大会に備え、コースとなる道路の環境整備を行う。	・除草及び路面清掃等を実施
8	中高競技力向上事業費	教委	保健体育課	中学生・高校生の競技人口の拡大と競技水準の向上を図るための事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・補助先:小中体連、高体連(補助内容) ・中学、高校の指定した部活動に対し、活動費の支援 ※中学:82校103部、高校:36校104部

9	オリンピックロードレースコース活用地域活性化事業費	スポ	オリンピック・パラリンピック推進課	サイクルツーリズムの推進による地域の活性化を図るため、東京オリンピック大会自転車競技ロードレースで使用するコースを活用した取り組みを行う。	
10	スポーツ成長産業化戦略策定事業費	スポ	スポーツ振興課	スポーツを通じた地域経済の活性化を図るため、県内スポーツ産業の課題等を検討し、成長産業化に向けた戦略を策定する。	・スポーツ成長産業化戦略を策定
11	スポーツ合宿誘致推進事業費補助金	スポ	オリンピック・パラリンピック推進課	スポーツを通じた地域経済の活性化を図るため、県内で合宿を行う団体に助成する。	・補助先：県内でスポーツ合宿を行う団体 ・助成件数：7件
12	スポーツイベント等感染予防対策支援事業費	スポ	スポーツ振興課	スポーツイベント等における感染リスクを低減するため、貸出用サーモグラフィーを整備する。	・貸出先：県内でスポーツイベントを行う団体 ・貸出件数：7件
13	百坂やまなし・ヒルクライムツーリズム推進事業費	観光	観光振興課	国内外からの誘客と県内周遊を促進するため、坂道を活用した本県独自のサイクルツーリズムを推進する。	NPO法人やまなしサイクルプロジェクトと連携して、百坂の選定を開始するとともに、百坂を活用したイベント等の検討を行った。
14	山梨県ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策基金積立金	スポ	オリンピック・パラリンピック推進課	東京オリンピック・パラリンピック大会の開催に伴い、ホストタウン登録市町村等における選手等受入れ時の感染症対策を実施するため、基金を設置する。	・基金条例制定(3月4日)

施策方針2 観光振興を通じた県内経済活性化

3 観光客と観光消費の拡大

NO	事業名	部局	担当課	内容	実績
1	ホストタウン・ハウス出展事業費	スポ	オリンピック・パラリンピック推進課	国内外からの誘客を促進するため、ホストタウン登録自治体の魅力を国内外に発信するホストタウン・ハウスに出展する。	・なし(オリパラ延期により、ホストタウン・ハウスは不実施)
2	食による地域の魅力再発見事業	県民	県民安全協働課	本県の特徴ある郷土食等を「やまなしの食」として認定し、次世代へ継承するとともに、地域活性化や観光振興に繋げるための取組を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「食の伝承マイスター」の認証(3団体) ・親子料理教室の開催(2団体実施) ・市町村等が実施する郷土料理等の継承への取り組みに対する支援(3団体) ・クックパッドへ郷土料理等のレシピ掲載 ・続・「やまなしの食」まるごと体験ハンドブックの作成(8,000部)
3	やまなし「水」ブランドプロモーション事業費	森林	森林環境総務課	経済雑誌への広告掲載などにより、良質な水の産地としての魅力を県内外に情報発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・知事と水に惹かれて山梨県に移住した日本料理人が、山梨の水について対談を実施。 ・R3年1月、日経ビジネスに対談記事見開き2頁とPR広告1頁を掲載(約19万部)
4	認証材需要拡大事業費	森林	県有林課	FSC認証の更なる普及と県有林材の需要拡大を図るため、大型展示会への出展や企業への売り込み等により、県産FSC認証材製品と県有林の森林管理をPRする。	・木質バイオマスフェア(北杜市)に出展
5	やまなしブランドプロモーション支援事業費	産業	産業振興課	やまなしブランドの形成を図るため、地場産業に係る地域の優れた資源を活用した産地のイメージアップや国内外での市場獲得等を支援する。	県内地場中小企業者が行う、自社製品の販路開拓等のための取り組みに対して助成(採択事業者数:10事業者)
6	GI山梨・甲州ワイン海外プロモーション支援事業費補助金	産業	産業振興課	県産ワインのブランド確立を図るため、海外ジャーナリストを活用した情報発信や英国ロンドンでのプロモーション活動等に対し助成する。	協同組合が実施したZoom等を活用したリモート型ロンドンプロモーション(R2.11.25)に対して助成。
7	やまなし地場産品認知度向上推進事業	産業	産業振興課	東京オリンピック・パラリンピック大会開催を好機に、県内地場産品の認知度向上を図るため、訪日外国人等に対し伝統工芸品や県産酒のPRを行う。	地場産品の魅力を伝えるリーフレット(電子データ、紙)を作成し情報発信。 県酒造協同組合に対し、県産日本酒の魅力を伝える多言語動画(英中日)作成を支援。
8	やまなしテキスタイルブランド化支援事業費補助金	産業	産業振興課	県産織物のブランド確立を図るため、優れた技術力を国内外に情報発信する取り組みに対し助成する。	組合が実施した、富士山駅内の郡内織物常設販売スペースにおける産地PRイベント開催(R2.9~R3.3)、Instagramを用いた産地PR動画配信(R3.2~R3.3)に対して助成
9	県産酒造産地プロモーション事業費	産業	産業振興課	県産ワイン、日本酒等のブランド確立を図るため、中国における販路開拓に向けた取り組みを行う。	新型コロナウイルス感染症の影響により渡航が困難なことから不実施
10	豊かな水が育む県産日本酒プロモーション支援事業費補助金	産業	産業振興課	水系ごとに多様な味わいを醸し出す県産日本酒を通じ、本県の水のブランド力の向上を図るため、県酒造組合が行うイベント等に対し助成する。	<ul style="list-style-type: none"> 組合による、首都圏向け販路開拓のための取り組みに対して助成 ・バイヤー等を対象としたメーカーズディナーは緊急事態宣言の発令が延期されたことにより中止 ・2月に開催された業界向け食品展示会スーパーマーケットトレードショーへ出展

11	ナイトタイムエコノミー推進事業費	観光	観光文化政策課	滞在型観光の魅力を高めるため、夜間における観光資源を活用した取り組みを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・補助先：株式会社 都留市観光振興公社 ・新型コロナウイルスの影響により、感染症対策を講じて開催。 ・「名称田原の滝」ライトアップの実施（12月18日～25日まで） ・期間中、会場内での近隣飲食店の案内や、温泉施設からのモニターツアーを実施
12	富士の国やまなし館運営事業費	観光	観光振興課	観光客の一層の誘致とやまなしブランドの確立、県産品の販路拡大を図るため、観光・物産に関する情報発信拠点「富士の国 やまなし館」、食の魅力を発信するレストラン「Y-wine(わいわい)」を運営する。	令和2年4月からリニューアルのため休業。7月13日にリニューアルオープン。県産食材を使用した山梨の食の体感拠点としてPRを実施。
13	富士の国やまなし館リニューアル事業費	観光	観光振興課	「富士の国やまなし館」を、県産ワインと本県の多彩な食材を使用した食の体感拠点としてリニューアルする。	<ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルオープン 7月13日 施設名「Cave de ワイン県やまなし」
14	山梨「ワイン県」PR事業費	観光	観光振興課	国内外からの更なる誘客の促進を図るため、日本一のワイン産地である本県の魅力をPRする。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため当初予定していたリアルイベントを変更し、県内ワイナリーで活躍する女性醸造家3名を招いてオンラインイベントを実施（アーカイブを含めた視聴数は約6,000）。 ・県内ワイナリーで活躍する醸造家のワインにかけた情熱等を紹介したストーリーブックを作成。 ・ワイナリーと山梨ワインが楽しめる飲食店舗を紹介するWEBマップを作成。
15	富士の国やまなし観光PR強化事業	観光	観光振興課	本県のイメージアップを図るとともに、国内外からのさらなる誘客を促進するため、ハローキティを活用したPRを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の観光名所2カ所に加え、ハローキティが特急列車に乗って東京から山梨にやってくる移動中の動画を作成。 ・今年度リニューアルオープンした東京日本橋にある山梨県のアンテナレストランでハローキティが県産食材を使った料理を楽しむ動画を作成。
16	映像産業招致推進事業費	観光	観光振興課	映像産業の積極的招致を図るため、映画、テレビなどのロケ誘致・支援を実施する。	・ロケの誘致や受入について支援を実施
17	中東諸国インバウンド観光推進事業費	観光	観光振興課	東京オリンピック・パラリンピック大会開催を好機に、中東諸国からの誘客促進を図るため、山梨PR大使によるプロモーション活動を実施する。	・中東諸国大使館等を42回訪問し、本県のPR及び誘客、県事業との連携について協議
18	外国人誘客アプリシステム運用管理費	観光	観光振興課	外国人誘客促進アプリ「FUJISAN ACTIVITIES」の保守管理を行う。	「富士の国やまなし観光ネット」の充実により、所期の目的を達成したため、R2年度に廃止
19	ツアー造成促進事業費	観光	観光振興課	旅行会社、マスコミ等に対し、本県の観光情報説明会・商談会を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により中止 ・12/16 試験的にオンラインで実施し、観光情報を発信
20	関東観光広域連携キャンペーン事業費	観光	観光振興課	本県への誘客促進を図るため、関東各都県等と連携してキャンペーン等を実施する。	・東京オリンピック・パラリンピックを契機としたプロモーション事業（Webによる情報発信）を実施
21	国際観光テーマ地区推進事業費	観光	観光振興課	静岡、神奈川両県と共同して富士箱根伊豆地域等における国際観光の一体的な振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米豪をターゲットにした観光プロモーション ①カード会員誌（米国）への掲載 ②オンライン記事掲載
22	農産物海外販路拡大支援事業費	農政	販売・輸出支援課	県産農産物の販路拡大に向けた取り組みを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・香港、台湾、マレーシアにおいて、小売店舗イベントとSNSを組み合わせたプロモーションを実施（9月） ・中国、香港、台湾、マレーシアにおいて農政部公式のSNSアカウントを開設し、県産果実のほか山梨県の情報を発信（9月～2月）

23	県産農産物魅力発信イベント開催費	農政	販売・輸出支援課	農産物におけるやまなしブランドの確立を図るため、東京オリンピック・パラリンピック開催期間中に県産果実等のPRイベントを開催する。	・県産食材魅力PRIに係るイベント実施(3/21) ・外国人向け農産物PRパンフレット作成(R3.3月)
24	農産物直売所魅力アップ支援事業費	農政	販売・輸出支援課	本県農産物の消費拡大を図るため、農産物直売所における外国人観光客等の受入体制を整備する。	・なし(コロナ禍の影響でインバウンド客への実践的な対応をする研修の実施が困難なため)
25	「富士の介」PR事業費	農政	販売・輸出支援課 食糧花き水産課	「富士の介」を本県のブランド魚として販売するためのプロモーション活動や、生産拡大に向けた取り組みを行う。	・国際見本市への出展(9/30～1/2) ・富士の介フェアの開催(11/3～3/末) ・PR動画制作(R2.9,10月) ・富士の介と輸入サーモンや銀鮭との旨味成分等の比較検証の実施 ・富士の介ロゴマークの商標登録
26	東京オリンピック・パラリンピック事前合宿等県産農産物PR事業費	農政	果樹・6次産業振興課	外国人観光客等への県産農産物の消費拡大を図るため、事前合宿で本県を訪れる選手等に対し県産農産物のPRを行う。	・なし(オリパラ延期により、事前合宿は不実施)
27	やまなしインフラ魅力発信事業費	県土	景観づくり推進室	橋りょうやダム等の果たす役割について県民の理解を深めるとともに、観光資源として誘客を促進するため、その機能や魅力の情報発信等を行う。	・10月22日インフラツーリズム試行ツアーの実施 ・2月26日現場見学会の実施 ・ポータルサイト「富士の国やまなしインフラガイド」によるインフラ施設等に関する情報発信
28	森林公園等を活用した誘客促進事業費補助金	森林	県有林課	施設利用者の回復を図り、地域活性化に資するため、森林の保健休養機能を活用した誘客促進の取り組みに対し助成する。	・武田の杜で、昇仙峡での観光など地域と連携した森林セラピースペシャルツアーを実施し延べ180人が参加 ・清里の森で、地元の観光協会と連携したスタンプラリーを実施し、延べ374人が施設内のパークゴルフや売店を利用
29	地場産品情報発信事業費	産業	産業振興課	県内地場産品の販売促進や販路拡大を図るため、地場産品販売サイト等へ誘導するWeb広告を配信する。	地場産品の魅力や組合のECサイト等を紹介するWebページを作成し、Web広告により誘導することで認知度向上、販売促進に繋がった。
30	県産日本酒消費回復・拡大支援事業費補助金	産業	産業振興課	県産日本酒の販売促進や販路拡大を図るため、インターネット販売サイトの構築やイベントの開催等に対し助成する。	組合が実施したECサイト構築、県産日本酒の販売会やオンライン試飲セミナー等の取り組みに対して助成
31	山梨ワイン消費回復・拡大支援事業費補助金	産業	産業振興課	県産ワインの販売促進や販路拡大を図るため、イベントの開催やSNS等を活用したGI山梨ワインのプロモーション等に対し助成する。	協同組合が実施したECサイト構築、酒販店・飲食店向けZoomワイナリーツアー(11～1月)、消費者向けバーチャルワインテイスティング(11月)の取り組みに対して助成
32	山梨ジュエリー消費回復・拡大支援事業費	産業	産業振興課	県産ジュエリーの販売促進や販路拡大を図るため、イベントの開催やPR動画の制作、ファッション業界等と連携した広報の実施等に対し助成する。	組合が実施したジュエリーウィークイベント(R2.11)の、テレビの特別番組やYouTubeによる放送・配信、ジュエリーミュージアムショップのPR映像制作やシーズンイベント開催等に対して助成
33	郡内織物消費回復・拡大支援事業費補助金	産業	産業振興課	郡内織物の販売促進や販路拡大を図るため、インターネット販売サイトの構築や製品開発等に対し助成する。	組合が実施した、ECサイト構築、新製品開発、テキスタイルカタログ等による情報発信、展示会開催(R2.11～12)、オンラインマッチング支援サイト構築に対して助成

34	県内観光産業反転攻勢支援事業費	観光	観光文化政策課	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい経営状況に置かれている観光産業を支援するため、国の「Go To Travel キャンペーン」に上乗せ助成するとともに、本県の魅力ある観光資源の高付加価値化を進めることにより、本県への誘客を促進する。	<p>○全国の旅行者を対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間: 8月28日から12月27日まで ・割引額: 宿泊料金10,000円以上の場合、5,000円 または2,500円 宿泊料金 5,000円以上の場合、2,500円 ・割引の上限: 1人1回あたり15,000円 <p>※国の緊急事態宣言と「GoToトラベルキャンペーン」の一時停止に合わせて12月28日から一時停止</p> <p>○山梨県民のみを対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間: 12月28日から1月11日まで 2月16日から3月31日まで ・割引額: 宿泊料金: 20,000円以上の場合10,000円 宿泊料金10,000円以上の場合5,000円 宿泊料金 5,000円以上の場合2,500円 ・割引の上限: 1度の宿泊あたり3泊まで
35	ワイン県やまなし・県産酒販売促進キャンペーン事業費	観光	観光振興課	「ワイン県やまなし」の認知度向上の取り組みを通じて、新型コロナウイルス感染症により、営業自粛を余儀なくされた飲食業や旅館業を支援する。	・県内飲食店等410店舗でキャンペーンを実施
36	無尽でお助け「めざせ！みんなで100億円」キャンペーン事業費	観光	観光振興課	新型コロナウイルス感染症の影響により経営状態が悪化した県内飲食店を支援するため、本県特有の無尽講の精神に基づく利用促進キャンペーンを展開する。	3月15日時点で7,683件総額350,726千円の申請を受けた。
37	高付加価値化受注型企画旅行誘致促進事業費	観光	観光振興課	新型コロナウイルス感染症の収束後、団体旅行やMICE(会議、研修、イベント)の「受注型企画旅行」の取り込みを図るため、旅行会社と連携し、県外からの「集中送客」を促進する取組を行う。	<p>・支給条件をクリアした旅行業者に助成金を支給</p> <p>実績: Aプラン(県内外業者向け)62件 Bプラン(県内業者向け) 165件</p>
38	県内周遊促進アニメツーリズム事業費	観光	観光資源課	新型コロナウイルス感染症の影響により経営状況が悪化した県内観光産業を支援するため、アニメを契機としたファンによる宿泊や飲食等を伴う聖地周遊を促進する取り組みを行う。	<p>・「ゆるキャン△」を活用した周遊促進を実施</p> <p>・R2.11～ 「へやキャン△」スタンプラリー</p> <p>・R2.12～ 宿泊キャンペーン</p>
39	信玄公生誕500年記念事業費補助金	観光	観光資源課	令和3年に武田信玄公の生誕500年を迎えることを契機に、信玄公の知名度を活かした誘客促進の取り組みを行う。	<p>・補助先: 信玄公生誕500年記念事業実行委員会</p> <p>・R2.5 実行委員会設立</p> <p>・実行委員会において、ロゴマークの制作、ガイドブック・のぼり旗の制作など各種PR事業を実施</p> <p>・R3.3.20 キックオフイベント開催</p>
40	県産農畜産物等消費拡大応援事業費	農政	販売・輸出支援課	県内農家の経営安定を図るため、県産農畜産物等の消費拡大に向けた取組を行う。	<p>・県内農家を応援するために、ECサイトを通じて県産農産物、農産物加工品、花きなどの詰め合わせを宅配により提供する事業を実施。(R2.7.27～R3.3.15)</p>
41	甲州牛等販売促進緊急対策事業費	農政	畜産課	県産ブランドである甲州牛、甲州地どりの魅力を発信し、需要喚起を図るための取組に対し助成する。	補助先: (公財)山梨県学校給食会 小中学校等274校の給食食材として提供

42	郷土伝統工芸品消費回復・拡大支援事業費補助金	産業	産業振興課	郷土伝統工芸品産業を支援するため、販路拡大等への取り組みに対し助成する。	組合が実施した、東京インターナショナル・ギフト・ショー出展(R3.2)及び県水晶美術彫刻組合が行う組合HPの改修について助成。
43	国内観光活性化フォーラム開催支援事業費補助金	観光	観光文化政策課	本県の観光資源と地域産業の魅力を旅行者に発信するため、全国の旅行者が参集する「第16回国内観光活性化フォーラムinやまなし」の開催に対し助成する。	・なし(新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、主催者によりフォーラムの開催が延期された)
44	高付加価値日帰り団体旅行誘致促進事業費	観光	観光振興課	観光産業を支援するため、旅行者者と連携し、県内外からの誘客を促進する取り組みを行う。	・支給条件をクリアした旅行者者に助成金を支給 実績:63件
45	OTA連携緊急デジタルプロモーション事業費	観光	観光振興課	国際観光地としての認知度向上を図るため、海外のオンライン旅行代理店と連携した取り組みを行う。	中国の個人旅行者に向けたオンラインプロモーションの実施 ①POIの充実 ②ライブコマースの実施
46	やまなし歴史の道ツーリズム推進事業費	観光	観光資源課	本県への誘客を促進するため、神社仏閣等の文化財をつなぐ「歴史の道」を活用したツーリズムを推進する。	・R2.11 業務委託業者を決定 ・R3.2 アドバイザー会議を開催し、5モデルルート案を決定
47	隠れた武田二十四将発掘発信事業費	観光	観光資源課	令和3年11月の信玄公生誕500年を好機に、本県への誘客を促進するため、武田二十四将を活用した映像コンテンツの制作等を行う。	・「小山田信茂」に焦点を当てた映像コンテンツを制作 ・脚本は、三谷昌登氏に依頼 ・R3.3.20キックオフイベントにおいて、知事から制作発表
48	風土記の丘・曾根丘陵公園ARミュージアム事業費	観光	文化振興・文化財課	国指定史跡である銚子塚古墳等の魅力を国内外に発信するため、最先端技術を活用した鑑賞環境を整備する。	・10月30日 企画提案審査会 ・11月9日 契約候補者と契約締結 ・3月26日 ローンチ
49	農畜水産物ブランド強化事業費	農政	販売・輸出支援課	やまなしブランドの強化に向けたプロモーション体制を整えるため、ロゴマーク等のPR素材を作成する。	・キャッチフレーズ、ロゴマークの制作(R3.3)
50	インバウンドゴルフツーリズム推進事業費	観光	観光振興課	「第9回アジアゴルフツーリズムコンベンション」の開催を好機に、静岡県と協働して訪日外国人旅行者のゴルフツーリズムを推進するための取り組みを行う。	・コロナ禍により延期
51	青木ヶ原樹海イメージアップ強化事業費	観光	観光振興課	豊かな自然を有する青木ヶ原樹海を、観光資源としてPRすることによりイメージアップを図り、誘客に繋げるための取り組みを行う。	・事業者を選定し、効果的なイメージアップ方策を検討
52	信玄公生誕500年PRイベント支援事業費補助金	観光	観光資源課	令和3年11月の信玄公生誕500年に向けた機運の醸成を図るため、キックオフイベントと連携した取り組みに対し助成する。	・補助先:狼煙花火リレー事業実行委員会 ・花火打ち上げ:R3.2.19~21 ・打ち上げ箇所:北杜市、韮崎市、甲府市、甲斐市、市川三郷町、笛吹市、大月市、都留市 ・特別番組放映:R3.3.19
53	バイ・ふじのくに空港活用魅力発信事業費	観光	観光振興課	国内外からの誘客促進を図るため、静岡県と連携し、富士山静岡空港内に両県の協働誘客施設を設置する。	・富士山静岡空港内旅客ターミナルビル3階に静岡・山梨協働誘客施設「空のしおりー3776ー」を整備

4 本県魅力の磨き上げ

NO	事業名	部局	担当課	内容	実績
1	フランス・インバウンド観光推進事業費	スポ	オリンピック・パラリンピック推進課	東京オリパラ開催を好機に、フランスからの誘客促進を図るため、フランス商工会議所と連携する。	・フランス商工会議所会員への情報発信
2	ユニバーサルデザインタクシー導入促進事業費補助金	リニア	交通政策課	外国人観光客や高齢者等の移動手段の充実を図るため、タクシー事業者等が行うユニバーサルデザインタクシーの導入に対し助成する。	・補助事業者数：4事業者 ・補助台数：7台
3	環境保全重点課題対策事業費補助金	森林	環境・エネルギー課	本県の豊かで良好な自然環境を保全するため、新たな環境課題に対応する取り組みに対し助成する。(R2はオリンピック会場周辺の不法投棄物の撤去等を重点課題対策事業の一つとする)	・なし(オリパラ延期によりR2申請なし) ※R3年度も継続して補助対象とする。
4	やまなしの木マーケット開拓事業費 収穫予定箇所の立木調査・処分費	森林	林業振興課 県有林課	・県産材の販路拡大を図るため、都市部のニーズに応じた県産材製品の開発に対し、助成する。 ・選手村で県産FSC認証材を利用するとともに、大会後に返却される木材を県内公共施設等でオリンピックレガシーとして再利用することにより県産材をPRする。	・8種類の県産材製品の開発等に対して助成 ・返却材の再利用先は県内各市町村、県庁各課、県教育委員会、県警察本部に照会し、返却材775本すべて再利用先が決定 ・返却材の返却時期は、オリンピックの開催延期により令和3年12月以降となる見込み
5	おもてなし森林景観創出事業費	森林	県有林課	登山者、旅行者等に親しまれる森林からの美しい景観を創出するため、眺望地点における森林整備等を行う。	・北杜市外6箇所(新規2箇所)で立木伐採、ベンチの設置等を実施
6	日本酒等品質強化支援事業費	産業	産業振興課	県産日本酒等の高品質化や高付加価値化を図るため、甲府技術支援センターの品質評価支援体制を強化する。	
7	地域連携DMO事業費	観光	観光振興課	やまなし観光推進機構(地域連携DMO)による観光産業の生産性向上を図る取り組みを行う。	課題把握団体106団体、生産性向上講座計6回実施、参加者287人
8	昇仙峡リバイバル支援事業費	観光	観光資源課	国内外からの更なる誘客を促進するため、伝統的な観光地である昇仙峡の再活性化に向けた取り組みを行う。	・夢の松島園地の再整備、案内看板の設置事業を実施
9	外国人旅行者災害時情報発信等強化事業費	観光	観光振興課	災害時における外国人観光客等の安全・安心の確保を図るため、災害情報等を多言語で提供する体制を強化する。	・防災ポータルが多言語ページを開設(8言語) ・災害時外国人旅行者向けフードコミュニケーションカードを作成・配布(100万部作成)
10	やまなし美食ブランド創造事業費	観光	観光振興課	国内外からの誘客を促進するため、県産食材を活用した付加価値の高い創作料理の提供等による新たな食ブランドの確立に向けた取り組みを行う。	・県内シェフ等8名によるコンソーシアムを設立 ・県内の飲食関係者向けのセミナーを開催
11	ハラール対応推進事業費	観光	観光振興課	イスラム圏からの観光客の受け入れ体制を強化するため、食品提供に対する理解促進と対応力向上に向けた取り組みを行う。	・ハラール対応セミナーを開催(R3.2.3~2.4、計58名参加) ハラール対応の専門家を派遣(2回以上)
12	災害時外国人観光客等支援体制強化事業費	観光	観光振興課	災害時における外国人観光客等の安全・安心の確保を図るため、災害コーディネーターの育成や防災訓練を実施する。	・災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修へ参加(1名) ・災害時外国人観光客対応セミナーを実施(R3.2.3~2.4、計58名参加)
13	富士の国やまなし観光振興施設整備事業費補助金	観光	観光資源課	観光立県「富士の国やまなし」の実現を図るため、地域の魅力向上に必要なと認められる観光施設等を整備するものに対して助成を行う。	・8市町村1事業者が実施する9事業を対象に観光振興に必要な整備について助成
14	南アルプス観光グレードアップ促進事業費	観光	観光資源課	南アルプスを核とした山岳観光の振興に向けて、南アルプス地域の観光地としての魅力向上を図るための取り組みを行う。	・R3年3月末までに南アルプス市広河原地区にWi-Fi環境を整備

15	伝統的観光地再活性化支援事業費	観光	観光資源課	国内外からの更なる誘客を促進するため、市町村が行う伝統的な観光地の再活性化に向けた取り組みに対し助成する。	・補助先: 笛吹市 ・新型コロナへの対応のため、再活性化に向けた検討を行う状況でないことから、事業実施を来年度に繰越。
16	世界文化遺産景観整備支援事業費補助金	県土	景観づくり推進室	世界文化遺産「富士山」の適切な保存管理を行うため、構成資産周辺における市町村や住民の景観形成に向けた取り組みに対し助成する。	補助先: 富士吉田市、忍野村、山中湖村 (補助内容) 建築物の外観修景、許可基準に合致している自家用屋外広告物の除去、屋外広告物ガイドラインに沿った外観修景、景観に配慮した公共サインの整備
17	県内観光産業反転攻勢支援事業費(再掲)	観光	観光文化政策課	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい経営状況に置かれている観光産業を支援するため、国の「Go To Travel キャンペーン」に上乗せ助成するとともに、本県の魅力ある観光資源の高付加価値化を進めることにより、本県への誘客を促進する。	・公募により支援対象5事業者を選定 ・専属の専門家による伴走型支援(10~3月)や旅行メディア等との意見交換の機会提供(1~3月) ・観光資源磨き上げノウハウガイドブック制作(2~3月)
18	やまなしバス交通オープンデータ化促進事業	リニア	交通政策課	県民や観光客のバス利用の利便性を向上させるため、運行情報等のリアルタイムオープンデータ化に向けて、バス協会が運営する「やまなしバスコンシェルジュ」のシステム改修に対し助成する。	・補助先: (一社)山梨県バス協会 ・内容: バスのリアルタイム位置情報を検索サイトに情報提供、車載器の更新
19	甲武信ユネスコエコパーク情報発信事業費	森林	みどり自然課	生態系の保全と持続可能な利活用の調和を図るため、甲武信ユネスコエコパークの情報発信拠点を整備する。	・繰越事業(R3年度にかけて実施)
20	森林セラピー基地づくり事業費	森林	県有林課	森林の癒し効果の活用により森林公園「金川の森」の魅力を高め、県内外からの誘客を促進するため、森林セラピー基地としての整備を行う。	・繰越事業(R3年度にかけて実施)
21	やまなし観光MaaS整備事業費	観光	観光振興課	国内外からの誘客と県内周遊を促進するため、一次・二次交通及び観光事業者等の連携による利便性の高い「やまなし観光MaaS」を整備する。	・やまなし観光MaaS推進協議会を立ち上げ、協議会を開催(2回)
22	屋外・自然で楽しむ家族向けアクティビティ開発支援事業費	観光	観光振興課	ウィズコロナ、ポストコロナ時代における新しい旅行スタイルの受入体制を整備するため、観光地の宿泊施設が行う施設改修等を支援する。	・オンラインセミナー開催(延べ105人参加) ・ワークショップ開催(延べ47人参加)
23	ワーケーション導入促進事業費	観光	観光資源課	ウィズコロナ時代におけるワーケーション等の新たな旅行スタイルに対応した誘客を促進するための取り組みを行う。	(モデル事業費補助金) ・補助先: 観光協会、宿泊施設等 ・R3.1から補助金の公募を開始(支援事業) ・R2.11 支援業務委託業者を決定 ・R2.12~ 観光協会等に対する支援業務を開始
24	峡南地域観光資源ブラッシュアップ支援事業費	観光	観光資源課	中部横断自動車道南部区間の開通を好機に、県内外からの誘客を促進し、地域活性化を図るため、観光資源の磨き上げの取り組みを行う。	・R2.11 支援業務委託業者を決定 ・R2.12 キックオフミーティングを開催 ・R3.3~ 市町村に対する支援業務を開始
25	美術館等を中核とした文化クラスター推進事業費	観光	文化振興・文化財課	国内外からの誘客を促進するため、文化・自然・食の連携を通じ、美術館等の文化観光拠点施設を中核とした地域活性化に資する取り組みを行う。	10月以降、文化資源デジタル化・コンテンツ開発事業、情報技術を活用した利便性向上・データ収集事業、情報プラットフォーム整備事業など、文化観光に資する事業を実施

26	農産加工品高付加価値化推進事業費	農政	果樹・6次産業振興課	障害者の参画や地球環境への配慮等による本県農産加工品の高付加価値化を図るため、PR方法や販売のモデルを構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本県農産加工品のPR方法や販売のモデル構築 ・動画サイト配信(R3.2.19～R3.3.17) ・テスト販売(R3.2.20～R3.3.17) ・アンケート調査(R3.2.20～R3.3.17)
27	農泊地域魅力磨き上げ事業費補助金	農政	農村振興課	ウィズコロナ時代における新たな旅行需要に対応するため、宿泊・体験コンテンツの開発等に対し助成する。	農泊実施地区におけるワーケーション環境の整備やワーケーション利用者をメインターゲットとした新たな農業体験等の整備に対する助成を実施。
28	森林空間活用施設整備モデル事業費補助金	森林	森林環境総務課	コロナ禍における新たな観光や健康づくり等の需要に対応し、地域の活性化を図るため、森林空間を活用した自転車パークの整備に対し助成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・繰越事業(R3年度にかけて実施)
29	八ヶ岳自然ふれあいセンター改修費	森林	みどり自然課	本県への教育旅行の需要増大に対応するための施設改修を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・繰越事業(R3年度にかけて実施)
30	清里の森誘客促進施設整備事業費	森林	県有林課	ワーケーション等の新たな需要に対応し、県内外からの誘客を促進するため、バーベキュー場の整備等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・繰越事業(R3年度にかけて実施)

施策方針3 県民のQOLの向上

5 スポーツを通じた健康増進

NO	事業名	部局	担当課	内容	実績
1	全国障害者スポーツ大会派遣費	スポ	スポーツ振興課	全国障害者スポーツ大会の選手団派遣費、地区予選会派遣費、強化練習費を助成する。	・なし(全国障害者スポーツ大会が新型コロナウイルス感染症の影響で中止、派遣なし)
2	生涯・地域スポーツ推進事業費	スポ	スポーツ振興課	県関係のオリンピック等を小・中・高等学校、市町村、競技団体等に派遣し、トップ選手の実技や講演会等を通して、スポーツへの参画機運を醸成する。	・なし(オリパラ講演会、新型コロナウイルス感染症の影響で中止)
3	山梨県スポーツレクリエーション祭実行委員会助成費	スポ	スポーツ振興課	山梨県スポーツレクリエーション祭実行委員会の事業運営に対して助成する。	・なし(新型コロナウイルス感染症の影響で中止、中止に要した費用のみ執行)
4	東京オリンピック競技普及啓発事業費補助金	スポ	スポーツ振興課	県民が日常的にスポーツに親しむ機会の拡充を図るため、オリンピック新種目等の競技団体が行う認知度向上や競技人口拡大に向けた取り組みに対し助成する。	・なし(競技団体が出展予定の県民の日行事が新型コロナウイルス感染症の影響で中止)
5	障害者スポーツ大会開催費	スポ	スポーツ振興課	障害者スポーツ大会を開催する。	・なし(新型コロナウイルス感染症の影響で中止)
6	いきいき山梨ねんりんピック実行委員会事業費補助金	スポ	スポーツ振興課	「スポーツ県やまなし」宣言記念事業として、県民の中で定着している「いきいき山梨ねんりんピック実行委員会事業」に対し助成する。	・なし(新型コロナウイルス感染症の影響で中止)
7	障害者スポーツ交流教室開催費	スポ	スポーツ振興課	障害者の自立と社会参加を促進するため、障害者スポーツ交流教室を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツ指導員派遣 48回 ・障害者スポーツ交流教室開催 10回 7/18 峡東(サッカー、参加者15名) 8/1 峡東(サッカー、参加者15名) 8/7 東部(ホッパ、参加者20名) 9/11 東部(ホッパ、参加者16名) 9/20 中北(ホッパ、参加者15名) 10/11 中北(ホッパ、参加者14名) 10/18 中北(ホッパ、参加者13名) 11/23 峡南(ホッパ、参加者36名) 12/12 峡東(サッカー、参加者30名) 3/5 峡南(ホッパ、参加者 9名) 合計178名
8	子どもの体力向上推進事業費	教委	保健体育課	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を踏まえ、児童の体力・運動能力の向上を図るため、運動習慣の確立及び健康的な生活習慣の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 「目指せ！やまなしチャンピオン！」事業 ・小学生がなわとび等の指定した運動の記録に挑戦する ・開催時期：9月～2月 ・参加校：15校 「もっと楽しい体育授業で体力アップ！」事業 ・小学生を対象に投げる力を中心とした体力向上につながる指導を実施 ・実施期間：10月～1月 ・実施校：40校

6 多様性への理解促進

NO	事業名	部局	担当課	内容	実績
1	やまなし外国人相談センター運営費	知政	国際戦略グループ	多文化共生社会の実現を図るため、在留外国人に対し生活全般の情報提供や相談対応を多言語で行う窓口を運営する。	・相談人数 161人 ・相談件数 273件 ・研修開催 3回(市町村、外国人支援関係者、社会福祉士)
2	多文化共生コーディネーター設置費	知政	国際戦略グループ	市町村や関係機関が連携して効果的に外国人に対する支援を行うためのコーディネーターを設置する。	・市町村多文化共生に関する施策・取組と課題等調査(27市町村)、外国人支援団体状況調査(22団体)を実施。 ・生活にかかわる情報発信(市町村向け、在住外国人向け)を10月～3月に実施。
3	外国人地域生活サポーター設置費	知政	国際戦略グループ	地域において外国人に対し日常生活に関する情報提供や相談対応を行うサポーターを設置する。	・6月に設置し、39名に委嘱 ・相談同行件数:619件(R2.6～R3.3)
4	外国人活躍ネットワーク会議開催事業費	知政	国際戦略グループ	官民の関係団体をつなぐネットワーク会議を設置・開催し、外国人との共生推進などに向けて情報収集や意見交換を行う。	・名称を「やまなし外国人活躍ビジョン推進会議」に変更。 ・推進会議開催 1回
5	ホストタウンウィーク県民交流事業費	スポ	オリンピック・パラリンピック推進課	県民と事前合宿で来日した競技関係者等が交流する取り組みを行う。	・民間連携イベント(9月26日から10月28日)の実施 (内容)県内飲食店においてホストタウン相手国に関連する飲食物の提供等 参加店舗:44店舗 ・市町村連携イベント(9月1日から12月31日)の実施 (内容)ホストタウン相手国との交流事業やオリパラ関連事業を実施 参加市町村:13 ・図書館連携展示(9月1日～13日、10月16日～30日) (内容)県立図書館において、啓発チラシやポスターを掲出等
6	事前合宿誘致推進事業費(再掲)	スポ	オリンピック・パラリンピック推進課	スポーツ振興や地域経済の活性化を図るため、市町村における事前合宿の誘致を推進する。	・事前合宿誘致等Webサイトの運営
7	県民文化祭開催費補助金	観光	文化振興・文化財課	県民の文化活動への参加を促進し、個性あふれる文化を創造するため、県民総参加型の県民文化祭を開催する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため翌年度に延期
8	やまなし文化芸術推進月間事業費	観光	文化振興・文化財課	県民の文化芸術に対する理解と関心を深めるとともに、文化芸術による地域活性化を図るための取り組みを行う。※実施は11月	・HP、SNS等の様々な媒体や街頭キャンペーン等による普及啓発の実施 ・県民文化芸術ひろばの開催(11月23日) ・笹子追分人形芝居・内船歌舞伎によるステージ、若者によるステージ発表及び展示 参加者 約440人
9	伝統芸能でひもとく「山梨の名水」魅力発信事業	観光	文化振興・文化財課	本県の豊かで良質な水の魅力を国内外に向けて情報発信するため、事前合宿で来日した競技関係者に向けたイベントを開催する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

10	外国人介護人材受入支援事業費	福祉	健康長寿推進課	介護職種における外国人の介護保険施設等への円滑な就労・定着に資するため、介護技能を向上させる集合研修等を実施する。	・第1回研修会(初級編)を8月に防災新館オープンスクエアで開催し、技能実習生5名が(ベトナム5)参加。 ・第2回研修会(中級編)を9月に提供福祉専門学校で開催し、技能実習生21名が(ベトナム10、インドネシア9、中国2)参加。
11	次世代型農福連携パワーアップ事業費	福祉	障害福祉課	障害者の経済的自立を支援するため、障害者の農業分野への就労を促進する取り組みを行う。	・福祉施設と農業者とのマッチング 34件 ・農産物等の販売を行うマルシェを開催 計4回、40施設参加 ・農福連携6次産業化アドバイザーを4福祉施設に派遣し、6次産業化製品の開発を支援 ・農福連携ロゴマークを作成し、ブランド化支援
12	障害者交流活動推進事業費	福祉	障害福祉課	障害に対する理解を深め、障害者と健常者が人格や個性を尊重し合い共に暮らすことができる社会の実現に向け、相互に交流する機会を創出する。	・なし(新型コロナウイルス感染症が流行する中で、障害者と健常者の共演は難しいため中止)
13	外国人患者医療提供体制整備推進事業費	福祉	医務課	外国人患者の医療提供体制について、県内関係者が協議、情報交換等を行うための協議会を開催する。	・なし(新型コロナウイルス感染症による医療機関への負担を考慮し、協議会の開催を見送り)
14	救急医療体制運営事業費	福祉	医務課	外国人観光客等が医療機関を適切に受診できるよう、病院、診療所を受診する際に役立つ情報等を多言語で提供する「やまなし医療ネット」を運営します。	・24時間365日、「やまなし医療ネット」を運営
15	オリンピック・パラリンピック教育推進事業費	教委	保健体育課	東京オリンピック・パラリンピック開催を好機に、児童生徒がスポーツの価値、国際・異文化、共生社会への理解を深めるための教育を推進する。	・東京オリ・パラを契機にオリンピック・パラリンピアンによる講演会や競技体験を通じ、オリパラ教育の普及を進めた。 ・対象校:小・中学校15校、高校4校、特別支援学校1校 ・開催時期:9月～2月
16	新型コロナウイルス感染症外国人患者受け入れ体制整備費補助金	福祉	医務課	外国人患者の受診に伴う院内感染防止対策を図るため、帰国者・接触者外来が行う多言語案内表示板等の設備整備に対し助成する。	・補助実績 補助施設数8、補助額10,469千円(見込)
17	飲食店等多言語対応環境整備事業費	観光	観光振興課	新型コロナウイルス感染症収束後の外国人観光客の受入体制を整備するため、県内飲食店等が行うメニュー多言語化の取り組みを支援する。	県内飲食店2,000件のメニューを多言語化(英語・中国語(簡体字))
18	外国人患者受入体制整備推進事業費補助金	福祉	医務課	外国人患者に対する医療提供体制の強化を図るため、医療機関が行う翻訳機等の整備に対し助成する。	・補助実績 補助施設数61、補助額4,128千円(見込)
19	県内観光資源多言語案内加速化事業費	観光	観光振興課	外国人旅行者のおもてなし環境の充実を図るため、観光資源案内板の多言語化等を行う。	・県内観光資源140箇所の調査 ・多言語による調査した観光資源の解説文を作成(英語・中国語簡体字) ・解説文を使用した観光資源の案内板の改修・新規製作に係る市町村への補助金交付 ・解説文を使用した旅行記の作成 ・県観光ネット多言語サイトリニューアル